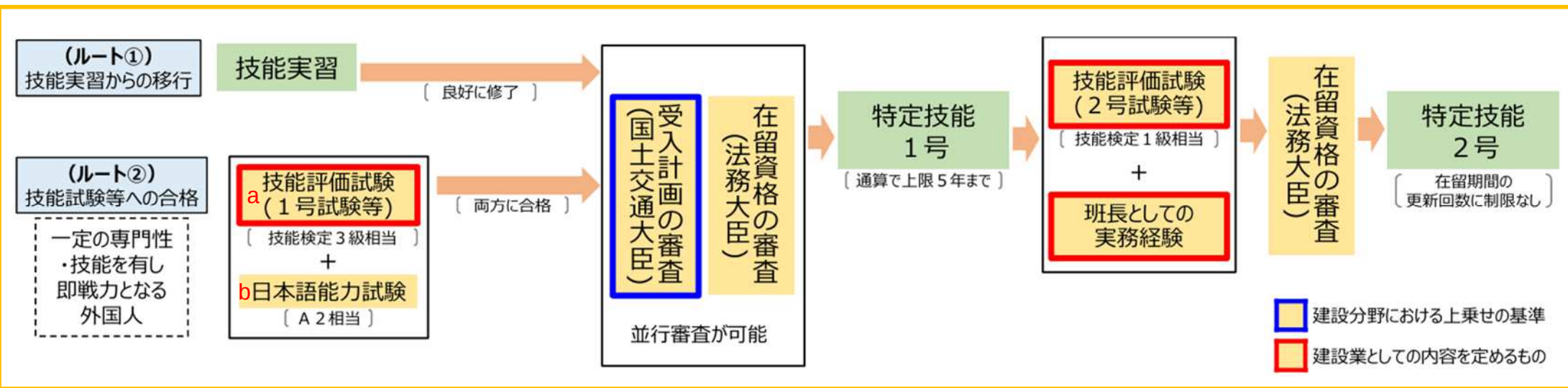


建設分野における外国人材の受入れ状況等について

令和8年7月7日

国土交通省 東北地方整備局

○ 建設分野における「特定技能」の在留資格の取得及び就労の開始に必要な手続き



○ 建設分野における受入企業の基準及び受入計画の認定要件 (上乗せ基準)

- 業種横断の基準に加え、建設分野の特性を踏まえて国土交通大臣が定める特定技能所属機関 (受入企業) の基準を設定
- 当該基準において、建設分野の受入企業は、受入計画を作成し、国土交通大臣による審査・認定を受けることを求める
- 受入計画の認定基準
 - 受入企業は建設業法第3条の許可を受けていること
 - 受入企業及び1号特定技能外国人の建設キャリアアップシステムへの登録
 - 特定技能外国人受入事業実施法人 (JAC) への加入及び当該法人が策定する行動規範の遵守
 - 特定技能外国人の報酬額が同等の技能を有する日本人と同等額以上、安定的な賃金支払い、技能習熟に応じた昇給
 - 賃金等の契約上の重要事項の書面での事前説明 (外国人が十分に理解できる言語)
 - 1号特定技能外国人に対し、受入れ後、国土交通大臣が指定する講習または研修を受講させること
 - 国又は適正就労監理機関による受入計画の適正な履行に係る巡回指導の受入れ 等

- 建設分野で活躍する外国人の数は約20万人で、全産業の約8%
- 在留資格別では、技能実習生が約12万人、特定技能が約 5 万人
- 2022年4月に、2号特定技能外国人が建設分野において初認定（2025年12月末時点：1,799人）

建設分野に携わる外国人数

(単位：人)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
全産業	907,896	1,083,769	1,278,670	1,460,463	1,658,804	1,724,328	1,727,221	1,822,725	2,048,675	2,302,587	2,571,037
建設業	29,157	41,104	55,168	68,604	93,214	110,898	110,018	116,789	144,981	177,902	206,468
技能実習生	18,883	27,541	36,589	45,990	64,924	76,567	70,488	70,489	88,830	107,229	119,868
特定技能外国人	—	—	—	—	267	2,116	6,360	12,776 (8)	24,463 (30)	38,578 (213)	51,122 (1,799)

出典：特定技能外国人は出入国在留管理庁の公表値、その他は「外国人雇用状況」の届出状況（厚生労働省）
特定技能外国人は年度末時点（2022年、2023、2024年は12月末時点）、その他は10月末時点の人数
特定技能外国人の（ ）内数値は2号特定技能外国人数

特定技能外国人の国別受入状況（2025年12月末時点）

国名	ベトナム	インドネシア	フィリピン	中国	カンボジア	ミャンマー	タイ	ネパール	その他	合計
人数	31,712(1,553)	6,678(40)	5,649(14)	2,766(168)	1,723(4)	1,018(6)	503(2)	264(5)	809(7)	51,122(1,553)

- 国土交通省における申請認定事務の開始
令和元年4月1日から国土交通本省を窓口申請受付を開始
- 東北地方整備局における申請認定事務の開始
令和2年4月1日から東北地方整備局に窓口を移し申請受付を開始
オンラインで申請を受付(国土交通本省ホームページ参照)
https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000117.html

- 令和7年度(R7.4.1~R8.3.31)における東北地方の
受入計画認定数

建設業認定企業数 487社(全国17,817社)
特定技能外国人数 759人(全国28,145人)

- 建設分野の2号特定技能外国人に求める
実務経験について、令和4年3月に基準が
示され、岐阜県内で初認定。
2025年12月末現在1,799人

オンライン申請(外国人就労管理システム)



- 外国人建設技術者については、主には在留資格「技術・人文知識・国際業務」で受け入れており、専門知識を活かして施工管理や設計・測量等の業務で重要な役割を果たしている。
- 建設業における「技術・人文知識・国際業務」の在留者数は過去10年間で約8倍に増加しており、今後も更に増加することが見込まれる。

建設技術者の主な職種と業務内容

施工管理技術者

施工計画の立案
工程監理 原価管理
品質管理 安全管理
タブレットやスマホの専用アプリ等によるDX化が進みつつある

設計技術者

構造物調査
設計計画の立案
意匠設計 構造設計
設備設計 生産設計
BIMやCADを使用

測量技師

測量調査 予算管理
機器調達 測量計画
製図 測量データ分析
近年ではドローンの活用も行われている

地質調査技士

調査計画の立案 地質調査
ボーリング調査 物理探査
現場の安全管理 品質管理
調査データ分析を元にした設計・施工に対する助言



建設技術者の就業状況（イメージ）



- 国土交通省主催で、外国人技術者採用を希望する中堅・中小建設企業と、日本の建設企業に就職を希望する学生とのマッチングを図るジョブフェアを、現地の大学と連携しつつ、ベトナム・インドネシアにおいて継続的に実施。

【会場】 インドネシア（ジャカルタ、ジョグジャカルタ等）、ベトナム（ハノイ、ホーチミン等）

【対象】 建築学・土木工学の学科を持つ現地大学の学生や卒業生で日本の企業へ就職を希望する人材

【参加企業】 外国人技術者の受入れを希望する中堅・中小建設企業、建設関連企業

※渡航費・宿泊費は参加企業負担、通訳は参加企業の費用負担による手配が可能

【スケジュール】 午前 ①セレモニー ②ブース説明会

午後 ③個別面談（エントリーした求職者と企業が面談）

＜令和7年度の開催状況＞

インドネシア：参加企業のべ10 社

7/28（月）ガジャマダ大学 学生155名参加（うち最終4名採用）、7/30（水）インドネシア大学 学生144名参加（うち最終12名採用）

ベトナム：参加企業のべ15 社参加

9/13（土）ホーチミン市工科大学 学生238名参加（うち最終6名採用）、9/15（月）ハノイ土木大学 学生142名参加（うち最終3名採用）

※その他、国内でのオンライン開催も含め 最終28名採用

過去の開催の様子



インドネシア・インドネシア大学
(2024.9)



インドネシア・ガジャマダ大学
(2025.7)



ベトナム・ハノイ土木大学
(2024.12)



ベトナム・ホーチミン市工科大学
(2025.9)

外国人技術者の採用・定着に向けたハンドブック

中堅・中小建設企業の経営者・実務担当者向けに、外国人技術者の受入の準備や、採用・定着に向けたステップ、現在日本で活躍している外国人技術者の受入事例などを紹介しています。

巻末には、行政手続き案内や支援サービスなどの参考情報を多数掲載しました。



第1章 外国人建設技術者の受入れに向けて

- 1-1 外国人建設技術者を採用する意義・メリット
- 1-2 外国人建設技術者の採用・定着に向けたチェックリスト

第2章 外国人建設技術者の採用・定着に向けたステップ

- 2-1 STEP1 経営課題の抽出・整理
- 2-2 STEP2 採用計画・ターゲットの明確化
- 2-3 STEP3 採用準備・受入環境整備
- 2-4 STEP4 募集・選考
- 2-5 STEP5 雇用手続き
- 2-6 STEP6 活躍・定着に向けた取組

第3章 外国人建設技術者の受入れ・活躍事例

- 3-1 先行する中小建設企業における受入れ・活躍事例

第4章 参考情報

- 4-1 在留資格
- 4-2 インターンシップ
- 4-3 雇用契約
- 4-4 支援サービス
- 4-5 ハンドブック・好事例
- 4-6 主要国・主要大学等
- 4-7 職業紹介事業者等



ハンドブック（PDF）のダウンロードはこちらから

https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/tochi_fudousan_kensetsugyo_tk3_000001_00014.html

【創設趣旨】

外国人材が日本の建設業を舞台に中長期的に活躍できる制度の活用が進んでいることを踏まえ、建設技能や日本語によるコミュニケーションの習得が顕著な特定技能外国人、その育成に尽力された企業等、さらには、建設業に従事する外国人材に関連した優れた取組を称えるべく、2023年度より、国土交通大臣表彰を創設。

【表彰概要】

①優秀外国人建設技能者賞（外国人建設技能者部門）	②外国人材育成賞（受入企業部門）	③未来への取り組み賞（外国人材活躍優良事例部門）
○建設技能、コミュニケーションスキルの習得に関する取組が顕著であり、建設現場での指導的役割を目指す特定技能外国人を表彰	○外国人建設技能者の育成並びに処遇改善に係る継続的な取組が顕著な企業等を表彰	○建設業に従事する外国人材に関連して、地域社会との共生等の継続的な取組を表彰 ※令和7年度新設

【受賞者】

優秀外国人建設技能者賞	: 6件	※左記のほか 奨励賞: 2件
外国人材育成賞	: 6件	
未来への取り組み賞	: 5件	

【2025年度 審査委員】 ◎委員長 (敬称略)

◎ 蟹澤 宏剛	芝浦工業大学建築学部教授
岩野 剛	一般社団法人全国建設業協会常任参与
増田 昌樹	一般社団法人日本建設業連合会常務執行役
佐々木 留美子	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻特任研究員
杉田 昌平	弁護士法人Global HR Strategy代表社員・弁護士
宮森 千嘉子	一般社団法人CQラボ主宰
柳澤 庄一	一般社団法人建設産業専門団体連合会専務理事
山口 壘	独立行政法人労働政策研究・研修機構研究員



2025年度表彰式

外国人建設技能者部門

①優秀外国人建設技能者賞



業務の様子



社内打合せ

【受賞者情報】

氏名:TRAN DINH DAT
在留資格:特定技能2号
国籍:ベトナム
受入企業:株式会社中铁
所在地:大阪府高槻市

【評価ポイント】

- 1級鉄筋施行技能士、日本語能力試験N2合格
- 班長・職長として、日本人、外国人作業員双方に指導を行い、相談にも丁寧に対応
- 実務だけでなく、技能検定受験のための座学や鉄筋組立を指導

受入企業部門

②外国人材育成賞



試験対策講習



社員旅行

【受賞者情報】

氏名:大栄電設株式会社
事業内容:電気工事、電気通信工事
会社設立:1975年12月
従業員数:42名

【評価ポイント】

- 社内に学習室を設け、電気工事士試験対策、日本語教育などによる継続的な学習支援
- 日本語能力試験の合格者に祝い金を支給するインセンティブ制度を設置
- 自立した生活ができるよう、日本におけるゴミの分別方法等を教える「生活の知恵セミナー」を毎月開催

外国人材活躍優良事例部門

③未来への取り組み賞



ゼミの様子



スポーツイベントでの国際交流

【受賞者情報】

実施主体:株式会社タカラ
事業内容:管工事
会社設立:2005年3月
従業員数:37名

【評価ポイント】

- 現地大学と連携して企業の専門学部を創設し、「TAKARAゼミ」を開講
- 来日後は、生活ルールや防災、地域ルール等に関して社内研修を実施し、文化・言語に配慮した住環境を整備
- 国内外の一部イベントにおいては現地行政等と共に、日本人、外国人双方が共同して企画運営等を実施